



平成 23 年 3 月 23 日

下堂園
Shimodozono

穎娃地区の「ゆたかみどり」は、1~1.5 葉期 2011 年新茶情報 No. 2

今回も、3 月 22 日に実施した芽伸び調査をもとに新茶情報をお届けいたします。



開聞岳を望む穎娃地区のゆたかみどり茶園



穎娃地区の早場地帯ではゆたかみどりが 2 葉展

気象の推移と茶園の状況

この 1 週間(3/15~3/21)、前半の 4 日間はやや寒い天候が続きました(鹿児島市の最低気温 5 前後、最高気温 15 前後)。3/18 には薩摩半島南部の茶園地帯でも最低気温が 0 近くまで下がり、防霜設備のない一部の茶園では降霜に見舞われたところも出ました(当社系列農家の被害はありませんでした)。しかし、3/19 になると、春の陽気が戻り、最低気温が 15 くらい、最高気温が 20 くらいまで上昇しました。また、3/20 には適度の降雨もありました。この暖かさと降雨によって、ゆたかみどりは順調に芽を伸ばしています。この時期、5 日くらいで 1 葉展開するとされていますが、穎娃地区のゆたかみどり茶園ではこの 1 週間で 1~1.5 葉程度の伸びを示しています。

穎娃地区周辺のゆたかみどりの芽伸び状況

3 月 22 日現在、穎娃地区の当社系列のゆたかみどり茶園の新芽は、早いところで 2 葉、平均的には 1~1.5 葉の伸びを示しています。この芽伸びの状況は、早生品種の芽伸びが異常に早かった昨年よりやや遅いものの、統計的には平年並みといえることができます。

穎娃地区周辺のゆたかみどりの摘採時期予測

週間天気予報によりますと、本日 3/23 から 3/30 まではやや低めの気温で推移する見込みです(鹿児島市の最低気温 4~5 、最高気温 13~18)。ただし、晴れの日が多く、日照に恵まれるため、茶の芽の伸育はこれまでと同様、順調に進みそうです。このような気象条件から推測すると、穎娃地区周辺のゆたかみどり茶園の摘採スタートは、中刈茶園や平場の温暖な場所にある茶園では 4 月 10 日前後、本格的には 4 月 13~15 日くらいになるのではないかと推測されます。

この資料に使用されている写真は、株式会社下堂園の製品に関する報道・解説を目的とした出版物・WEB 媒体のみで、ご利用いただけます。ご希望の方は、下記担当者までご連絡ください。

株式会社下堂園

〒891-0123 鹿児島県鹿児島市卸本町 5-18

TEL 099-268-7281 FAX 099-269-3811 e-mail ocha-no@shimo.co.jp

担当 下堂園 元